



こんにちは **日本共産党** 京都市議員

# 玉本なるみ

2月  
市会報告

✉ shikai@tamamoto-narumi.jp

玉本なるみ



## 議会報告

### 『子ども若者はぐくみ局』が できます

子どもの専門の局ができることに反対ではありませんが、同時に行われる組織再編が問題です。全行政区の保健センターの「民泊」や食中毒、犬猫の相談などの生活衛生部門が市役所に1カ所集中化することになりました。「窓口は各行政区に残す」と説明していますが、実際に対応するのは集約化された所になるので、保健センターが身近な存在ではなくなります。名前も保健福祉センターとなります(福祉事務所と合体)。

厳しく追及しましたが、体制も最後まで「調整中」と、議会に詳細な報告もないままスタートしました。引き続き、住民サービスの後退となっていないか、追及していきます。



### 介護保険総合事業に関する 決議に賛成討論

「介護保険総合事業の発足に際し利用者の権利擁護と事業所への支援強化を求める」決議案に対して、閉会本会議で賛成討論しました。4月から、新規及び介護認定更新時から、要支援者に対するの訪問介護と通所介護が、予防給付から市が独自に実施する「総合事業」に変更となりました。

問題は、家事援助のみの訪問介護に対して、報酬額が下がり、事業所の運営が困難となることです。実際、家事援助のみをおこなう訪問介護事業所は、これまでの半分程度しか登録されていません。介護保険の制度そのものが崩壊しかねない状況です。

共産党以外の会派の賛同が得られず、決議案は否決されましたが、4月からの状況をしっかり調査し、引き続き、議会で取り上げていきます。



### 「民泊」増えています。空き家に注意!

京都では、「民泊」(簡易宿所)が増えています。まず、第1の問題は無許可・違法かどうかということ。基本的に、住居専用地域には許可されません。第2の問題は、許可を受けている施設でも、住民の生活環境が壊されていないかということ。日々、違う観光客が地域を歩き、随分、風景が変わります。空き家があると、気が付けば、「民泊」になっていたというケースが多いようです。

写真のようなキーケースがドア近くにあり、勝手に入るようになっているのは問題です。



日本共産党市議員団で「民泊ハンドブック」を作成しました。分かりやすいと好評です。お問い合わせ下さい。

### つぶやき

今年度も、教育福祉委員会の所属になりました。しかも、今回は保健福祉局、教育委員会に加え、「子ども若者はぐくみ局」と担当局が増え、ますますボリュームアップされた委員会になりそうです。青少年対策部門も対象となります。子どもや若者の未来と福祉の充実に向け、頑張ります!



要だと思えます。

も、公立との協力体制が必要に頑張ってもらうために民間移管してきました。民間にも、わずかながら公立の障害者施設を次々に民間移管してきました。民間にも、わずかながら公立の障害者施設を次々に民間移管してきました。民間にも、わずかながら公立の障害者施設を次々に民間移管してきました。

これまで重度の障害児や途中入所の受け入れなど公立保育園が頑張ってきた。それを助けてもらいました。それを助成の増額などなしで民間保育園に任せるのは問題です。

公立保育園の民間移管が問題になっています。もちろん、民間保育園も頑張った保育をしてきています。しかし、日本の保育制度は決して良いとは言えません。保育園の運営費用は厳しく、保育士さんの賃金も低いのが現状です。

「民間にできることは民間に任せようか!」

アンテナ

